

第 35 回会長の時間 青少年奉仕につつまして 平成 29 年 4 月 20 日

桜のシーズンを終え一段と春らしくなりました。今日は宇部ローターアクトクラブの中村 悠さんをお迎えしておりますので、本日は、青少年奉仕につつましてお話を致します。東ガバナ一年度では、2710 地区の青少年奉仕委員会委員長に金子正己さん、青少年交換委員長に福田さん、ローターアクト委員長に私が任命され、もうすぐ 3 年間の任期を終えようとしています。

さて、RI における青少年とは、年齢 30 歳までの若い人のすべてを指しますが、青少年奉仕では、彼らの多様なニーズを認識して、生活力を高め、将来への準備をさせることがロータリアンの責務です。そして、すべてのロータリークラブとその地区は、青少年の基本的ニーズすなわち健康、人間の価値や教育や自己開発を支援するプロジェクトに着手することを求められます。青少年奉仕プログラムとしまして、RI 常設プログラムには、ロータリー青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) がありますが、いずれも年齢 30 歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけることを目的としています。そして、参加した青少年は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修及び文化交流などを通じて、自分自身と世界について新しい発見することができます。

まず、インターアクトは、12~18 歳を対象としたクラブで、学校または地域社会をベースとして活動しています。インターアクトクラブ会員は、少なくとも月 2 回ミーティングを開き、年に 2 回奉仕活動をしますが、学校や地域社会での活動を 1 回と、国際理解を育むための活動を 1 回実施します。2710 地区では、山口県に 6 校、広島県に 13 校の計 443 名のインターアクターがいます。近くでは、宇部西 RC が提唱している宇部フロンティア大学附属香川高校に 11 名のインターアクターが所属しています。

青少年交換は、人生を変えるような貴重な経験を若者に味わってもらうためのプログラムです。学生たちが新しい文化や習慣に触れることで、グローバルな理解得られ、その恩恵は、学生たちだけでなく、留学生を世話するロータリークラブやホストファミリーにも及びます。数ヶ月の短期交換と海外で 1 年間を過ごす長期交換留学がありますが、2710 地区では、6 名がいずれも長期で、アメリカやフランスのクラブと交換留学しています。世界では、年間 8000 人以上の若者が、ロータリー青少年交換を通じて一生に一度の貴重な体験をしています。

ローターアクトは、学生を含む 18~30 歳の青年男女で構成されており 2 週間に 1 度の頻度で例会を開いております。もちろん、ローターアクトクラブには、ス

ポンサーとなるロータリークラブ（提唱ロータリークラブ）があり、支援をしております。2016年3月時点では、世界150カ国以上の地域に、529地区、8,341クラブ、2万人以上の会員がおり、日本では、34地区、284クラブ、約3,180人の会員が在籍しています。現在、2710地区内のローターアクトクラブは、山口県内に下関、宇部、徳山の3カ所、広島県内には広島、呉、福山の3カ所にクラブがあり、地区全体では、6クラブで現在73名の会員が在籍しております。主な行事として、まず、地区代表の公式訪問がこの6クラブにおいて行われます。また、年に1回アジア方面への海外研修旅行を行い、国際交流を深めています。さらに、年2回の勉強会として地区協議会を実施、RYLAへの参加、及びローターアクト最大の総会である年次大会などもプログラムされております。2014年11月1日から11月3日まで、ローターアクトの海外研修で台湾に行き3480地区の台北クラブと交流しましたが、その時の海外研修実行委員長が、中村悠さんでした。台北ロータリークラブの方々から大変温かいおもてなしを頂き、金子正己さんや地区のメンバーと台北・台中に旅行したことを懐かしく思い出します。RYRAにつきましては、後日お話しします。最後になりますが、次年度の地区ローターアクト代表に、わが宇部ローターアクトの川嶋君を出しますので、宇部ローターアクトの会員を増強するためにも、是非とも企業アクト会員のご推薦をお願い致します。

本日は、青少年奉仕についてのお話をしました。